

平成30年9月10日 北海道地方路線問題調査特別委員会 開催状況

開催年月日 平成30年9月10日

質問者 日本共産党 真下 紀子 委員

担当部課 総合政策部交通政策局交通企画課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 地域での説明について (一) 他の地域への対応について 今ほど、各地で開催されたJR北海道の事業範囲の見直しに係る地域協議会について説明があったわけですが、日高線沿線や留萌線沿線など、今回報告のなかった地域に対しては、どのように説明等を行っていくのかお伺いします。</p> <p>いま、説明をしながら、国の考え方の説明やJRの事業計画などについてもこれから説明があると思うのですが、現段階で説明するには国の考え方にも持ち帰りの部分もありましたし、十分な情報が無いわけです。そうゆう中で、地域で検討すると言っても、これはなかなか話がかみ合っていないということになっているんだというふうに思います。</p> <p>そういう中で、こうした不満や不安が出てくるというのは当然だというふうに考えますので、地域の意見をよく聞いて、これを国にしっかり伝えるということが必要だというのが一つ。</p> <p>それから、いま地域協議会で話し合いをしています。このままだと路線毎の意思決定で何か全てが決まってしまうんじゃないかという心配を持つわけです。北海道全体の鉄道ネットワークとして、どういうふうに考えるのかというところを指針は出しましたけれども、このところでもやっぱり、北海道全体としてどういうふうな交通ネットワークを作っていくのかという観点をもう少し具体的に道が出していく必要があるんじゃないかと、国と一緒に。国の方が責任を持つわけだとは思いますが、そうしたことを示しながら路線のことも考えていくというふうにししないと、路線毎に決定したからそれで終わりというような考え方にはならないんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>そして最後に、今回震災がありましたけれども、震災後の復旧に向けて新たな財政負担というのも生じるんだと思います。そうしたことにどう対応していくのか。次の委員会で質問したいと思いますので、よく考えていただきたいというふうに思います。以上で終わります。</p>	<p>【鉄道支援担当課長】 他の地域に対する説明についてであります。国の考え方が公表されて以降、日高線、札沼線につきましては、これまで開催された沿線地域の会議の場などで、国や道、JR北海道が出席し、沿線自治体の首長の皆様に国の考え方などについて、説明を行ってきているところでございます。</p> <p>道といたしましては、引き続き、沿線地域の協議会等に参画するとともに、様々な機会を通じて、地域が必要とする様々な情報を提供し、地域の皆様のご意見を踏まえながら検討・協議が進むよう、積極的に取り組んでまいります。</p>